

# グローバルテック株式会社 第152回定時取締役会議事録

開催日時: 2024年3月25日（月）13:00-17:00

開催場所: 本社大会議室

出席者: 取締役8名、監査役3名、執行役員5名

議長: 代表取締役社長 大野健一

## 議事内容

### 1. 前回議事録の承認

第151回取締役会議事録について承認された。

### 2. 2024年度第4四半期業績報告

CFO 中村財務担当より報告

#### 連結業績サマリー

- 連結売上高: 45,200百万円（前年同期比+8.2%）
- 連結営業利益: 4,850百万円（前年同期比+12.1%）
- 連結当期純利益: 3,120百万円（前年同期比+15.3%）

#### セグメント別業績

ITソリューション事業（売上構成比52%） - 売上高: 23,504百万円（+11.2%） - セグメント利益: 2,820百万円（+18.5%） - 主力のクラウドサービスが好調に推移

製造業向けシステム事業（売上構成比28%） - 売上高: 12,656百万円（+5.8%） - セグメント利益: 1,139百万円（+8.2%） - 自動車業界向けが堅調、半導体業界は調整局面

**海外事業**（売上構成比20%） - 売上高: 9,040百万円（+2.1%） - セグメント利益: 452百万円（-5.2%） - 為替影響により利益率が低下

### 3. 子会社業績報告

#### 3-1. テクノロジーソリューションズ株式会社

##### 代表取締役社長 田中太郎より報告

**業績概要:** - 売上高: 3,680百万円（前年同期比+15.2%） - 営業利益: 294百万円（前年同期比+8.9%） - 従業員数: 124名

**主要課題:** 同社からの報告によると、一部の大口顧客からの売掛金回収に遅延が発生している。特にE建設株式会社からの85百万円について、同社の資金繰り悪化により回収期間が180日に延長している状況。

また、クラウド移行の加速により、従来のオンプレミス向けサーバー機器の在庫が長期滞留している。6ヶ月以上動きのない在庫が全体の35%を占めており、評価損のリスクが高まっている。

**親会社としての対応:** - 売掛金管理体制の強化指導 - 在庫管理プロセスの見直し支援 - 新規顧客開拓への支援強化

#### 3-2. グローバルマニュファクチャリング株式会社

##### 代表取締役社長 佐藤製造担当より報告

**業績概要:** - 売上高: 8,950百万円（前年同期比+3.2%） - 営業利益: 715百万円（前年同期比-2.1%） - 従業員数: 450名

**主要トピックス:** 新工場（千葉県）の建設が順調に進行中。2024年7月の稼働開始予定。総投資額は120億円で、年間生産能力は従来比1.5倍に拡大予定。

ただし、原材料価格の高騰により収益性が悪化。特に銅価格が前年比25%上昇しており、製品価格への転嫁が課題。

#### 3-3. フィンテックイノベーション株式会社

##### 代表取締役社長 山田金融担当より報告

**業績概要:** - 売上高: 1,250百万円（前年同期比+28.5%） - 営業利益: 187百万円（前年同期比+45.2%） - 従業員数: 85名

**事業展開:** デジタル決済サービス「PayTech」の利用者数が100万人を突破。月間取引高は500億円に達し、順調に成長している。

新サービスとして、中小企業向けの与信管理システム「CreditAI」を4月にリリース予定。AI技術を活用した信用スコアリングにより、従来の与信審査時間を1/10に短縮可能。

### 3-4. グリーンエネルギー株式会社

#### 代表取締役社長 鈴木環境担当より報告

**業績概要:** - 売上高: 2,180百万円（前年同期比+18.7%） - 営業利益: 218百万円（前年同期比+22.1%） - 従業員数: 156名

**事業状況:** 太陽光発電事業が好調。新規に3つの発電所（合計出力50MW）が稼働開始。再生可能エネルギー固定価格買取制度（FIT）の恩恵を受け、安定した収益を確保。

風力発電事業への参入も検討中。北海道と九州で適地調査を実施している。

## 4. 新中期経営計画（2024-2026年）の進捗

#### 代表取締役社長 大野健一より報告

##### 基本戦略の進捗

**戦略1: DX推進による競争力強化** - 社内システムの刷新が計画通り進行 - AI・機械学習技術の活用拡大 - **重要:** IT内製化を強化し、外部委託費を30%削減する方針

**戦略2: 海外事業の拡大** - 東南アジア市場への参入準備 - 現地パートナーとの提携交渉が進行中

**戦略3: 新事業領域への参入** - ヘルスケアIT分野への参入検討 - 教育テック分野での新サービス開発

##### IT内製化の影響について

**重要な方針変更:** グループ全体でIT内製化を推進する方針を決定。これまで子会社に委託していたシステム開発の一部を本社で内製化する。

**対象範囲:** - 基幹システムの保守・運用 - 新規システム開発の一部 - データ分析・BI関連業務

**子会社への影響:** テクノロジーソリューションズ株式会社等のIT子会社については、今後は競争入札による発注も検討する。ただし、専門性の高い分野や大規模プロジェクトについては引き続き委託する方針。

## 5. 人材戦略について

人事担当役員 高橋人事担当より報告

グループ全体の人材動向

- **総従業員数:** 2,850名（前年比+5.2%）
- **平均年齢:** 38.5歳
- **離職率:** 8.2%（業界平均12.1%を下回る）

人材確保の課題

**IT人材の不足:** 特にAI・機械学習、クラウド技術の専門家が不足。市場での獲得競争が激化しており、年収水準も上昇傾向。

**対応策:** - 新卒採用の強化（来年度目標150名） - 中途採用の積極化 - 社内教育制度の充実 - 子会社からの人材登用も検討

## 6. リスク管理について

リスク管理委員会委員長 田村リスク担当より報告

主要リスク要因

1. **市場リスク** - IT市場の競争激化 - 新興企業の参入増加 - 価格競争の激化
2. **技術リスク** - 技術変化への対応遅れ - サイバーセキュリティ脅威 - システム障害リスク
3. **人材リスク** - 優秀な人材の流出 - 技術継承の課題 - 労働力不足
4. **財務リスク** - 為替変動リスク - 金利上昇リスク - 信用リスク（顧客の財務悪化）

子会社のリスク状況

**テクノロジーソリューションズ:** - 大口顧客の信用リスク（E建設、D流通等） - 在庫評価損リスク - 親会社依存度の高さ

**グローバルマニュファクチャリング:** - 原材料価格変動リスク - 為替変動リスク - 設備投資回収リスク

## 7. コンプライアンス・ガバナンス

**監査役 石川監査担当より報告**

### 内部監査結果

各子会社の内部監査を実施。主要な指摘事項は以下の通り。

**テクノロジーソリューションズ:** - 売掛金管理プロセスの改善が必要 - 在庫管理体制の強化が必要 - 与信管理規程の見直しが必要

**その他子会社:** - 概ね適切に運営されている - 軽微な改善事項のみ

## 8. 株主還元政策

**CFO 中村財務担当より報告**

### 配当政策

- **年間配当:** 1株当たり85円（前年80円から5円増配）
- **配当性向:** 28.5%
- **株主還元総額:** 34億円

### 自己株式取得

- **取得予定株数:** 200万株
- **取得予定総額:** 100億円
- **実施期間:** 2024年4月-2025年3月

## 9. その他の重要事項

### 9-1. 新規事業投資について

**投資委員会委員長 林投資担当より報告**

**承認案件:** 1. ヘルスケアIT企業への出資（50億円） 2. 教育テック分野の新会社設立（30億円） 3. 海外展開のための現地法人設立（20億円）

## 9-2. 設備投資計画

**総額:** 180億円 - 本社ビル改修: 50億円 - IT設備更新: 80億円 - 子会社設備投資: 50億円

## 9-3. 次回開催予定

第153回取締役会：2024年4月25日（木）13:00-

---

# 決議事項

---

- 2024年度第4四半期業績を承認
  - 新中期経営計画の進捗を確認
  - IT内製化方針を正式決定
  - 年間配当85円を決定
  - 自己株式取得プログラムを承認
  - 新規事業投資3件を承認
- 

**議事録作成者:** 取締役会事務局 秘書室長 松本

**承認:** 代表取締役社長 大野健一